

長野県信用組合 様

林業公社へのご寄付ありがとうございます。

このたび、当林業公社の活動にご賛同いただきけんしん様が実施した「SDGs サポート定期預金～信州森の深呼吸～」を通じて、多額のご寄付を頂戴しました。

寄付金は、社営林の森林整備を更に進めるため、ご芳志に沿うよう獣害防除などに活用させていただきます。

ここに謹んで感謝の意を表します。



【 左から 長野県信用組合・本島常勤理事、林業公社・向山副理事長 】

「けんしん」さまのご支援で、木をクマの被害から守ります

～クマが狙う木の“甘い部分”～

長野県信用組合「けんしん」さまからお預かりしたご寄付は、木をクマなどの動物による皮はぎ被害から守るための獣害防除対策に大切に活用させていただきます。

クマは、大きく育った木の皮をはいで、その内側にある「形成層（けいせいそう）」を食べます。形成層は樹皮のすぐ内側にある細胞の集まりで、木が成長して太くなるために欠かせない部分です。形成層の細胞が新しい細胞をつくることで、木の幹は成長します。また、形成層は水分を多く含むやわらかな部分で、甘味のある成分が含まれているため、みずみずしいゼリーのような「甘いごちそう」としてクマに好まれるようです。

木の幹は外側で成長を続け、内側の多くは成長を終えた部分です。クマに形成層を食べられると、新しい細胞をつくるができなくなります。その結果、木は弱り、最悪の場合は枯れてしまいます。何十年もかけて育ててきた木が傷つき枯れてしまうことは、私たちにとって大きな悲しみです。

被害を防ぐため、木の幹にビニールテープを巻いたり、ネットで覆ったりする対策を行っています。一見地味な作業ですが、何十年もかけて育った大切な木を守るために欠かせない取り組みです。

このたびいただいたご支援は、木を守るための獣害防除対策に大切に活用させていただきます。温かいご支援に心より感謝申し上げます。



メリメリとスギの表皮をはいでいくツキノワグマ=長野県栄村、長野県林業総合センター提供